令和５年度　第１回　甲賀市地域公共交通活性化協議会

自動車部会　次第

・日　時　令和５年１２月２１日（木）　１３：５０ ～

・場　所　甲賀市役所別館１０１会議室

議　事

（１）報告事項

報告第１号　運賃協議部会員の選出について　資料１

（２）協議事項

第１号議案　甲賀市コミュニティバス再編計画（案）について　資料２

（３）その他

甲賀市地域公共交通活性化協議会（自動車部会）について

本市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（平成１９年法律第５９号）の規定に基づく法定協議会である「甲賀市地域公共交通活性化協議会」を平成２１年３月１３日に設置しました。

本協議会では、地域交通について総合的な検討を行い、関係者と合意形成を図りながら、本市にとって最適な公共交通を実現するため、実証実験や利用促進などを検討・実施しております。

また、本協議会には自動車部会を設置しており、本部会では道路運送法の規定に基づく地域公共交通会議の機能を有しておりますことから、主にコミュニティバスの路線再編やダイヤ改定、運賃改定等を運行事業者からの提案に基づいて協議いただくこととなっております。

資料１

甲賀市地域公共交通活性化協議会　令和5年度委員

（敬称略）

役職	機関及び団体名	職名	氏名	備考
会長	甲賀市	副市長	正木　仙治郎	
副会長	甲賀市建設部	部長	樋口　泰司	

【委員】

	分野	機関及び団体名	職名	氏名	自動車部会	運賃協議部会	備考
1	所管運輸行政	国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	首席運輸企画専門官	田中　郁代	○	○	
1	広域交通行政	滋賀県土木交通部交通戦略課	参事	福島　森	○		
1	道路管理者	滋賀県甲賀土木事務所	次長	岡田　裕行	○		
1	所管警察（交通）	滋賀県甲賀警察署交通課	交通課長	富居　敬介	○		
2	学識経験者	龍谷大学文学部	教授	井上　学	○		
3	市民代表	甲賀市区長代表	副会長	中西　一吉	○	○	監査委員
3	市民代表	ゆうゆう甲賀クラブ	副会長	辻村　忠美	○		
3	市民代表	甲賀市身体障害者更生会	会長	増田　定雄	○		
3	市民代表	甲賀市ＰＴＡ連絡協議会	甲南副支部長	岡﨑　充志	○		
3	関係団体（福祉）	社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会	地域福祉課長	大谷　喜久	○		
3	関係団体（商工）	甲賀市商工会	事務局長	吉川　徹	○	○	監査委員
4	鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社京滋支社	副支社長	野口　明			
4	鉄道事業者	近江鉄道株式会社	執行役員鉄道部長	松本　康一郎			
4	鉄道事業者	信楽高原鐵道株式会社	専務取締役	山本　和良			
4	バス協会	一般社団法人滋賀県バス協会	専務理事	野村　義明	○		
4	タクシー協会	一般社団法人滋賀県タクシー協会	専務理事	松尾　武文	○		
4	一般乗合	滋賀バス株式会社	代表取締役	隠岐　公史	○	○	
4	一般乗合	株式会社シガ･エージェントシステム	代表取締役	松岡　政敏	○	○	
4	一般乗合	帝産湖南交通株式会社	運輸部長	新　幸雄	○	○	
5	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	私鉄労働組合滋賀県協議会	幹事	粂　隆太郎	○		
6	一般乗用	滋賀タクシー株式会社	業務課長	山本　義行	○	○	
6	一般乗用	たぬきタクシー株式会社	取締役	林　輝彦	○		
6	一般乗用	株式会社ビジネスサービス滋賀	部長	大伴　裕二	○		
7	甲賀市職員	甲賀市総合政策部	次長	藤橋　克志	○	○	
7	甲賀市職員	甲賀市市民環境部	次長	前田　三嗣	○	○	
7	甲賀市職員	甲賀市産業経済部	次長	近藤　直人	○	○	
7	甲賀市職員	甲賀市健康福祉部	次長	伴　統子	○	○	
7	甲賀市職員	甲賀市教育委員会事務局	次長	村地　昭彦	○	○	
7	甲賀市職員	甲賀市建設部	次長	山中　秀人	○	○	部会長
事務局		甲賀市建設部公共交通推進課	課長	村田　稔明			事務局長
			課長補佐	三鼓　明寛			
			係長	中村　正太			
			主査	山口　高徳			
			主査	服部　淳平			
			主査	井用　一馬			

資料2

コミュニティバス再編計画について

改正の必要性について

◆ **運転手の不足 → 減便**　　全域で100便程度（現在：386便 → 再編後：約290便）

・コミバス・・・仕業数の削減

・コミタク・・・通学便の調整

◆ **2024問題への対応 → 始発の繰下げ、最終の繰上げ**

◆ **運行補助金の増加 → 減便による車両数の削減、予約制運行への移行、利用・収入増**

◆ **通学対応 → 朝には20台以上の車両が運行、運転手不足により、改善が必要**

通学に必要な最低車両

・・・コミバス15台（水口3、土山5、信楽4、甲賀3）・コミタク6台（雲井2、中部2、第1・第2各1両）

●課題

①コミタク利用の回数増 → 通学人数増、運転手不足、費用増加、一般予約不可

②コミバスで、コミタク転換の要望があるが、登下校対応のため、路線を廃止できない（バス車両が必要）

③公共交通を利用した通学希望が増（少子化、熱中症（安全面））

●対応

コミバス利用に際し、既存路線（デマンド含む）を原則として利用

コミタクでの通学対応は、利用者の増加を見込み原則廃止（甲南地域の一部を除く）

①コミタクからコミバスへ再移行

多人数輸送が必要（黄瀬・宮町）・最寄り（池田団地ー中部小）コミバス運行（池田）

②定期便＋定時不定期運行（中畑、幸が平・畑、田代・大澤、青土・山内鮎河・大野）

③通学に特化した路線ではなく、既存一般路線に組み入れ（広野台・岩室・池田団地）

④SKR＋コミバス定期便 → コミバス定期便直通運行（丸岡＋高原台）

⑤運行便のルート変更（和野、嶬峨、今郷、中畑、幸が平）

改正内容について

①減便（廃止）する路線

・重複する路線(廃止)　**水口** A5 貴生川駅甲賀病院線 → 代替なし

甲賀病院直通便の廃止 → 他路線で代替

※該当路線… **甲賀** C4 甲賀駅甲賀病院線　**甲南** E3 寺庄甲南甲賀病院線

・利用が少ない路線(廃止)　**水口** A6 柏木巡回線　A7 貴生川巡回線 → 代替なし

・一部減便

水口 A2 広野台線　A3 和野中畑線　A5 三雲駅市役所線

土山 B1 土山本線　B2 土山甲賀病院線　B3 南草津土山線

甲賀 G1 広域水口線　**甲南** E1 希望ケ丘水口線

信楽 F1 朝宮線

ダイヤを間引き、折り返し運転とすることで、必要な運転手数を削減する → **運行間隔を概ね1h～2hに調整**

②始発の繰下げ、最終の繰上げをする路線

・減便　**水口** A5 三雲駅市役所線　**甲南** E1 希望ケ丘水口線

・時刻調整　**土山** B1 土山本線　**信楽** F1 朝宮線　F2 多羅尾線　F3 畑田代陶芸の森巡回線

③予約制へ移行する路線

・利用の少ない路線・便を路線不定期運行（予約制運行）に移行。現行で、利用の少ない時間帯の便は、一部廃止

・通学での利用が多い時間帯の便は、原則定期便（運行日は便によって指定）で運行

土山　**新B4** **山内鮎河巡回線**　**新B5** **大野巡回線**　**新B6** **土山巡回線**

…既存の4路線（B4・B6～8）を廃止、1路線(B1の田村神社～大河原間)を減便し、3路線に再編

甲賀　C1 大原線　C3 油日線　**甲南**　E2 環状線

信楽　F2 多羅尾線　F3 畑田代陶芸の森巡回線

（運行のイメージ）

バス停	1	2	3	4	5	6
	定期便	予約制	予約制	予約制	予約制	定期便
A	8:00	9:30	10:30	11:30	12:30	15:30
B	8:10	9:40	10:40	11:40	12:40	15:40
C	↓	9:50	10:50	11:50	12:50	↓
D	8:25	10:00	11:00	12:00	13:00	16:00
E	8:30	10:10	11:10	12:10	13:10	16:10

※　予約制については、バス停ごとに設定した時刻に合わせて運行します。

※　　は、開校日に定期運行、学休日については予約運行とします。

④新規に設定（変更）する路線

既存の路線では運行していない（病院等の目的地へ行けない地域）や、住宅・工業団地、人口集積地等利用が見込める地域に路線を新たに設定（変更・延伸等）

水口　**新A5** **水口綾野巡回線**　**新A6** **岩上巡回線**　**新A7** **伴谷巡回線**

・・・各線とも日あたり3便程度、現行路線で運行していない（病院等の目的地へ行けない）地域を運行

A2 広野台線　・・・朝夕の時間帯にかふかの丘を経由

A３ 和野中畑線　・・・佐山小まで朝夕に各1往復延伸

A4 三雲駅市役所線・・・工場団地経由便を増便　**甲賀**　**新C4** **佐山巡回線**　・・・日あたり3便程度

甲南　**新E3** **池田工業団地線**　・・・中部小学校への通学、フロンティアパーク等への通勤に対応

信楽　**新C4** **雲井国道線**　・・・日あたり3便程度、高原台・丸岡団地、黄瀬・宮町地域の通学に対応

※新規路線の名称は仮称

今後のスケジュールについて

○改正までのスケジュール

年月日	検討組織等	内容
R5.12.15	市議会産業建設常任委員会	コミュニティバス再編計画（案）における路線ごとの改正概要についての説明
R5.12.21	甲賀市地域公共交通活性化協議会	
R5.12.22	市議会全員協議会	
R5.12～	学校長（教頭）、地域役員等への説明	
R6.1.20 ごろ	甲賀市地域公共交通活性化協議会	ダイヤも含め最終決定
R6.1～2	地元説明 （デマンド導入地域・通学方法変更地域）	改正内容の説明 （時刻は未公表：JR との兼ね合い）
R6.1～2	庁内・市議会への説明	新ダイヤの報告
R6.3.10（予定）	プレス発表(JR ダイヤ改正公表に合わせて)	新ダイヤの一般公開
R6.4.1	コミバス再編（第1期）	※第 2 期は R7.4（予定）
	随時、改正状況のチェック、評価	

甲賀市コミュニティバス等再編計画(案）

甲賀市建設部公共交通推進課

令和５年１２月

コミュニティバス再編計画（案）（概要版）

2023.12.15

１市公共交通網の基本的な見直し方針

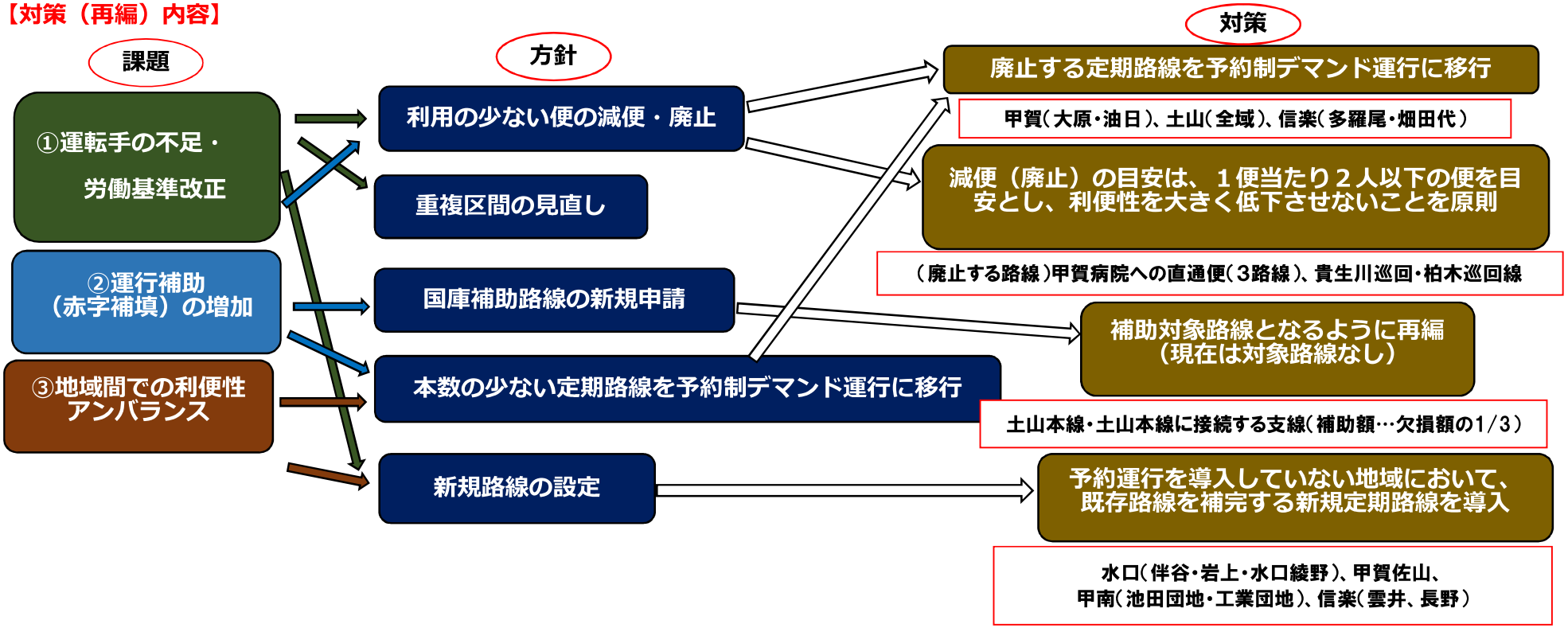
【対策（再編）スケジュール】

R6.4　再編（第１期）　・利用の少ない路線の見直し、予約制デマンド運行への移行（１年間の実証期間）

11月:活性化協議会・議会に対し、再編案の意見聴取　→　**12月**：活性化協議会・議会へ最終案の説明・地元説明　→
１月：地元説明、ＪＲダイヤ調整、活性化協議会最終報告　→　**2月**：地元説明　→　**3月**：議会説明　→　**Ｒ６．４．１ダイヤ改正**

R7.4　再編（第２期）　・実証路線の本格運行（改善）　・料金制度、コミタク制度の見直し（１年間の実証実験）

【対策（再編）内容】



「①運転手の不足」が最重要課題　→　現行３６仕業（1日に必要な運転手数）を削減　→　**日中だけでなく朝夕の調整も必要**

運行全便数　３６両386便　（Ｒ５現在）　→　想定削減数　約▲16両100便　＋　新規増便 約6両40便
→　**再編後の車両数　約31両（26両約330便+ デマンド約5両）**

2024.4.1 ダイヤ改正概要　2023.12.15現在

○改正理由

・慢性的な運転手不足、自動車運転者の労働基準改正に対応するため、始発・最終便のほか、利用状況に応じて減便、時刻の変更を行います。

○改正内容

廃止・減便となる路線

①廃止する路線

水口　A５ 貴生川駅甲賀病院線　A6 柏木巡回線　A7 貴生川巡回線　水口デマンド

②統合する路線（一部減便あり）… 路線が多く煩雑であるため、路線をわかりやすく整理します。

土山　B2 土山甲賀病院線 ⇨ **B1 土山本線**　B5 甲南線 ⇨ **C2 佐山線**

甲賀　C4 甲賀駅甲賀病院線 ⇨ **G1 広域水口線**

甲南　E3 寺庄甲南甲賀病院線 ⇨ **G1 広域水口線**

③減便する路線 … 始発・最終便のほか、利用状況に応じて減便します（概ね1~2h間隔とする）。

水口　A２ 広野台線　A３ 和野中畑線　A5 三雲駅市役所線

土山　B1 土山本線　B2 土山甲賀病院線（減便してB1に統合）　B３ 南草津土山線

甲賀　G1 広域水口線　甲南　E1 希望ケ丘水口線　信楽　B2 朝宮線

予約制運行を導入または移行する路線

※名称については変更する場合があります。

①路線を廃止し、通学時間帯の便以外を予約制運行とする路線を新設します。

土山　B1 土山本線（田村神社～大河原間）　B4 大河原線　B7 山内巡回線

⇨ **新B4 山内鮎河巡回線**

B６ 末田・大野小学校線・大野デマンド ⇨ **新B5 大野巡回線**

B8 大澤北土山巡回線 ⇨ **新B6 土山巡回線**

②通学時間帯の便以外を予約制運行に移行します。

甲賀　C1 大原線　C３ 油日線　甲南　E2 環状線

信楽　F2 多羅尾線　F３ 畑田代陶芸の森巡回線

新規路線

※名称については変更する場合があります。

①バスの運行が少ない（または、運行区間がない)地域に新しく路線を設定します。

水口　**新A5 水口綾野巡回線**　**新A6 岩上巡回線**　**新A7 伴谷巡回線**

甲賀　**新C4 佐山巡回線**　※概ね、９：30～14：00ごろに３便程度運行。

②通学通勤のアクセスを維持するため、新しく路線を設定します。

甲南　**新E3 池田工業団地線**　信楽　**新C4 雲井国道線**

※通学・通勤時間帯を中心に、1日４便程度運行します。

その他、主な変更箇所

①運行時間が長く、遅延がみられるため運行区間を見直します。

水口　A２ 広野台線　原則、三雲駅～市役所間、貴生川駅～菅谷間に分割します。

①利用促進のため、運行区間を見直します。

甲南　E1 希望ケ丘水口線　綾野行を増便します。

水口　A3 和野中畑線　朝夕の各１往復に佐山小学校まで運行します。

目次

１　市公共交通網の基本的な見直し方針　１～６

２　コミバス路線別評価一覧　７

３　コミタクエリア別評価一覧　８

４　路線図　９～１３

５　路線別改正概要　１４～２７

1 市公共交通網の基本的な見直し方針

【課題】

①運転手の絶対的不足

②運行経費の増大(特に人件費、コミタク)

③地域間での利便性アンバランス（郊外部ほど便利）

【課題解決方針】

①利用の少ない便の見直しによる仕業数の削減

→　利用の少ない便・重複路線の見直し、予約制デマンドへ転換

②新しい収入の獲得・経費の削減

→　（経費減）運行台数の削減…コミバス運行便数の削減

コミタク制度の見直し

→　（収入増）国庫補助路線の獲得、料金制度の見直し、利用促進

コミバス

水口地域	8路線	土山地域	9路線	甲賀地域	5路線
A1	八田線	B1	土山本線	C1	大原線
A2	広野台線	B2	土山甲賀病院直通便	C2	佐山線
A3	和野・中畑線	B3	南草津土山線	C3	油日線
A4	三雲駅・市役所線	B4	大河原線	C4	甲賀駅・甲賀病院直通便
A5	貴生川甲賀病院線	B5	甲南線	G1	広域水口線
A6	柏木巡回線	B6	末田・大野小学校線		
A7	貴生川巡回線	B7	山内巡回線		
	みなくちデマンドバス	B8	大澤・土山北巡回線		
			おおのデマンドバス		
甲南地域	3路線	信楽地域	3路線		
E1	希望ケ丘水口線	F1	朝宮線		
E2	環状線	F2	多羅尾線	5地域	27路線
E3	寺庄・甲南・甲賀病院線	F3	田代・畑・陶芸の森巡回線		

コミタク

水口地域	2エリア	土山地域	1エリア	甲賀地域	なし
	柏木エリア		土山エリア		
	貴生川エリア				
甲南地域	4エリア	信楽地域	2エリア		
	共通エリア		信楽宮町巡回エリア		
	北エリア		神山江田エリア	4地域	9エリア
	西エリア				
	東エリア				

コミバス

平日

水口地域	仕業数	土山地域	仕業数	甲賀地域	仕業数	甲南地域	仕業数	信楽地域	仕業数	合計
SB	11	SB	1	SB	4	SB	4	SB	5	41
		SAS	11							

休日

水口地域	仕業数	土山地域	仕業数	甲賀地域	仕業数	甲南地域	仕業数	信楽地域	仕業数	合計
SB	5	SB	1	SB	0	SB	1	SB	3	22
		SAS	9							

※SB・・・滋賀バス㈱、SAS・・・㈱シガエージェントシステム

☜　仕業数を減らすには、
朝夕の減便が必要。

③地域間での利便性アンバランス

・運行便数が少ない路線を予約制デマンドへ転換

・利用促進のための新規路線の設定、運行経路の変更

１市公共交通網の基本的な見直し方針

【対策（再編）スケジュール】

R6.4	再編（第１期）	・利用の少ない路線の見直し、予約制デマンド運行への移行（１年間の実証期間）
R7.4	再編（第２期）	・実証路線の本格運行（改善）　・料金制度、コミタク制度の見直し（１年間の実証実験）

【対策（再編）内容】　（別紙）路線別評価により該当する便を見直し

①利用の少ない便の見直しによる仕業数の削減

・便あたり概ね２人以下の便を利便性を大きく低下させない（2時間に１便は最低確保）範囲で原則減便、
路線全体で概ね２人以下の路線で重複路線であれば廃止、経路変更もしくは通学便以外を予約制デマンド運行へ転換

水口・・・貴生川甲賀病院、柏木巡回、貴生川巡回線を廃止　甲南・・・寺庄甲賀病院線廃止、環状線を予約制デマンド移行

甲賀・・・広域水口、佐山線以外を予約制デマンドに移行　信楽・・・多羅尾、陶芸の森巡回線を予約制デマンドに移行

土山・・・土山本線、南草津土山、甲南（佐山線に統合）線及び通学便以外を予約制デマンドに移行

・利用の著しく少ないバス停を通過し、複雑な系統を整理

水口・・・八田線（東春日、水口台南口）、和野中畑線（幸が平、中畑）

土山・・・土山甲賀病院線（本水口）　信楽・・・朝宮線（大石行の減便、時間帯により307号運行便を設定）

・重複区間を整理

水口・・・貴生川甲賀病院、柏木巡回、貴生川巡回線を廃止、市役所～貴生川間の適正化　甲南・・・環状線

土山・・・土山甲賀病院線、甲南線の見直し　その他・・・病院直行便の役割調整（広域水口線との重複など）

②新しい収入の獲得・経費の削減

国庫補助の獲得

・幹線補助路線の獲得（土山本線・・・系統整理により補助対象となる）

・幹線補助路線に接続するフィーダー路線の獲得（土山本線に接続するものすべて）

・湖南市の幹線補助路線に接続するフィーダー路線の獲得（三雲駅接続便）

料金制度の見直し

利用促進

・小中学生の長期休暇中におけるコミバス無料化　・高校生等の通学学期定期、回数券など

③地域間での利便性アンバランス

・運行便数が少ない路線（郊外部のコミタク未導入地域）を予約制デマンドへ転換（通学便以外）

土山・・・大野、土山、山内・鮎河地域を予約制デマンドに移行

甲賀・・・大原、油日に予約制デマンド導入

甲南・・・バス運行本数が少ない地域をコミタクエリアに編入（宝木、森尻）

信楽・・・多羅尾、畑・田代地域を予約制デマンドに移行

・人口密集地、住宅団地等、利用が見込める地域への新規路線の設定、大幅見直し

水口・・・ ①和野中畑線を佐山まで延伸し、甲賀地域の水口・水口東高通学対策を図る

②バス便数が少なく、バス停や駅まで遠い「水口・綾野地域」に巡回線新設

③広野台線を分割し、工業団地接続線を充実

④既存路線対応していないエリアに対応する路線を「伴谷（大型団地含む）、岩上地区」に巡回線として新設

甲賀・・・新名神甲賀工業団地の通勤対応、土日に観光線を新設

信楽・・・ ①３０７号を運行する路線を新設し、雲井学区の利便性を向上

②長野に近距離巡回定期路線を新設（住民メインとするが、休日は観光客も見込む）

甲南・・・ ①寺庄駅ー工業団地、池田団地ー中部小学校を結ぶ路線を新設

②希望ヶ丘線のルートを見直すとともに、コミタクと接続するハブバス停を設定（防災Ｃ）し、希望ケ丘団地の利便性向上

１市公共交通網の基本的な見直し方針

【通学対応について】　運転手不足により、改善が必要

通学に必要な車両数 … コミバス１５台（水口３、土山５、信楽４、甲賀３）・コミタク６台（雲井２、中部２、第１・第２各１両）

●課題

①コミタク利用の回数増　→　通学人数増、運転手不足、費用増加、一般予約不可

②コミバスで、コミタク転換の要望があるが、登下校対応のため、路線を廃止できない（バス車両が必要）

③公共交通を利用した通学希望が増（少子化、熱中症（安全面））

●対応

コミバス利用に際し、定期時刻便（デマンド含む）を原則として利用

コミタクでの通学対応は、利用者の増加を見込み原則廃止（甲南地域の一部を除く）

①コミタクからコミバスへ再移行

多人数輸送が必要（黄瀬・宮町）・最寄り（池田団地ー中部小）コミバス運行（池田）

②定期便＋定時不定期運行（中畑、幸が平・畑、田代・大澤、青土・山内鮎河・大野）

③通学に特化した路線ではなく、既存路線で対応（広野台・岩室・池田団地）

④SKR＋コミバス定期便　→　コミバス定期便直通運行（丸岡＋高原台）

⑤運行便のルート変更（和野、嶬峨、今郷、中畑、幸が平）

１市公共交通網の基本的な見直し方針

パターン①（コミタクから、コミバスへ再移行）・・・黄瀬・宮町

（現在）

	登校	下校
黄瀬	コミタク1便	コミタク2便
宮町	コミタクジャンボ1便	コミタク2便

（変更）

	登校	下校
黄瀬	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）
宮町		

パターン①（コミタクから、コミバスへ再移行）・・・池田

（現在）

	登校	下校
池田	コミタク1便	コミタク2便

（変更）

	登校	下校
池田	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）

※池田団地通学便に混乗

パターン②（定期便＋定期デマンド運行）・・・中畑、幸が平・畑、田代・大沢、青土・山内鮎河・大野

（現在）

	登校	下校
中畑、幸が平・畑、田代・大沢、青土・山内鮎河・大野	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）

（変更）

	登校	下校
中畑、幸が平・畑、田代・大沢、青土・山内鮎河・大野	コミバス（定期便）１台	コミバス（予約制）

パターン③（定期便運行）・・・広野台・岩室・池田団地

（現在）

	登校	下校
広野台・池田団地	コミバス（通学便）１台	コミバス（通学便）
岩室	コミバス（定期便）１台	

（変更）

	登校	下校
広野台・池田団地	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）
岩室	コミバス（定期便）１台	

１市公共交通網の基本的な見直し方針

パターン④（SKR＋コミバス定期便→コミバス定期便直通運行）・・・丸岡＋高原台

（現在）

	登校	下校
丸岡・高原台	コミバス（定期便）＋SKR	SKR＋コミバス（定期便）

（変更）

	登校	下校
丸岡・高原台	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）

※SKR利用なし

パターン⑤（ルートのみ変更）・・・和野、嶬峨、今郷

（現在）

	登校	下校
岩上	コミバス（定期便）2台	コミバス（定期便）2台

（変更）

	登校	下校
岩上	コミバス（定期便）１台	コミバス（定期便）

２コミバス路線別評価一覧

【評価指標】

運行便数	A･･･6便以上　B･･･5便以下
収支率	A･･･20%以上　B･･･19%～5%　C･･･4%以下
利用者あたり経費	A･･･500円未満　B･･･500円～1,000円　C･･･1,001円以上
便あたり乗車数	A･･･6人以上　B･･･1～5人　C･･･1人未満

（最終評価）

A	B, C評価なし	原則現状維持とするが、必要に応じて改善が必要
B	B評価が1～3項目	現在の運行を基本として、路線、停車バス停、ダイヤなどの見直しが必要
C	全項目でB評価、C評価あり	廃止、転換を含めた改善が必要

地域	路線名			運行便数	収支率	利用者あたり経費	乗車数	うち、1人以下	評価		課題･改善案等
水口	A1	八田線	往路	16	25%	374円	11.5人/便	0便	A	現状維持	系統整理(経路の見直し)･朝の混雑対応･利用が少ない便の見直し
			復路	16			9.8人/便	0便			
	A2	広野台線	往路	15			6.6人/便	0便	A	現状維持	系統整理(経路の見直し)･路線分割･利用が少ない便の見直し
			復路	13			6.5人/便	0便			
	A3	和野中畑線	往路	12			5人/便	1便	B	改善必要	系統整理(経路の見直し)･水口小通学対応･利用が少ない便の見直し
			復路	12			5人/便	2便			
	A4	三雲市役所線	往路	13			4.7人/便	1便	B	改善必要	系統整理(経路の見直し)･利用が少ない便の見直し
			復路	14			4.1人/便	1便			
	A5	貴生川甲賀病院線	往路	3			3.4人/便	0便	B	改善必要	廃止
			復路	5			1.6人/便	2便			
	A6	柏木巡回線	往路	2			0.3人/便	2便	C	抜本的見直しが必要	廃止
			復路	3			1.5人/便	1便			
	A7	貴生川巡回線		2	0.1%	3,291円	1.3人/便	0便	C	抜本的見直しが必要	廃止
土山	B1	土山本線	往路	30	18%	593円	7.6人/便	1便	B	改善必要	系統整理(経路の見直し)･朝の混雑対応･利用が少ない便の見直し
			復路	32			6.9人/便	3便			
	B2	土山甲賀病院線	往路	6			1.2人/便	5便	C	抜本的見直しが必要	減便し、B1と統合
			復路	5			2.3人/便	2便			
	B4	大河原線	往路	3			0.8人/便	2便	C	抜本的見直しが必要	廃止(別途、山内鮎河巡回線を新設し、予約制へ移行)
			復路	3			1.1人/便	2便			
	B5	甲南線	往路	2			1.3人/便	1便	C	抜本的見直しが必要	減便し、C2と統合
			復路	2			8人/便	0便			
	B6	末田大野小線		4			4.5人/便	1便	C	抜本的見直しが必要	廃止(別途、大野巡回線を新設し、予約制へ移行)
	B7	山内巡回線		4			0.6人/便	3便	C	抜本的見直しが必要	廃止(別途、山内鮎河巡回線を新設し、予約制へ移行)
	B8	大澤巡回線		4			8.7人/便	0便	B	改善必要	廃止(別途、土山巡回線を新設し、予約制へ移行)
	B3	南草津土山線	往路	4	5.2%	5,887円	1.1人/便	2便	C	抜本的見直しが必要	減便、予約制運行を検討
			復路	4			0.6人/便	3便			
甲賀	C1	大原線	往路	9	15%	732円	3.2人/便	5便	B	改善必要	予約制運行へ移行
			復路	10			1.6人/便	7便			
	C2	佐山線	往路	6			1.9人/便	2便	C	抜本的見直しが必要	系統整理(経路の見直し)･利用が少ない便の見直し･B5を統合
			復路	5			3人/便	4便			
	C3	油日線	往路	5			1.9人/便	2便	C	抜本的見直しが必要	予約制運行へ移行
			復路	6			2.3人/便	4便			
	C4	甲賀駅甲賀病院線	往路	1			1.3人/便	0便	C	抜本的見直しが必要	廃止し、G1と統合
			復路	1			0.7人/便	1便			
	G1	広域水口線	往路	5			6.2人/便	0便	B	改善必要	系統整理(経路の見直し)･利用が少ない便の見直し
			復路	5			5.9人/便	0便			
甲南	E1	希望ケ丘･水口線	往路	15	20%	500円	1.9人/便	4便	B	改善必要	系統整理(経路の見直し)･利用が少ない便の見直し
			復路	17			1.9人/便	7便			
	E2	環状線		5			2.1人/便	2便	B	改善必要	予約制運行へ移行
	E3	寺庄甲賀病院線	往路	1			4.1人/便	0便	B	改善必要	廃止し、G1と統合
			復路	1			2.1人/便	0便			
信楽	F1	朝宮線	往路	11	7%	1,694円	4.1人/便	1便	C	抜本的見直しが必要	系統整理(経路の見直し)･朝の混雑回避･利用が少ない便の見直し
			復路	11			2.7人/便	5便			
	F2	多羅尾線	往路	10			1.4人/便	5便	C	抜本的見直しが必要	予約制運行の導入
			復路	10			0.8人/便	8便			
	F3	田代畑		12			2.4人/便	3便	C	抜本的見直しが必要	系統整理(経路の見直し)･予約制運行の導入

３コミタクエリア別評価・地域別見直し（案）

○池田・宮町通学便の廃止→コミバスに移行
○長距離、跨ぎ運行の有料化実証（無料は使えない）
○大野デマンド、水口デマンドタクシーの廃止

水口地域（全日）		予約制運行					
		貴生川	柏木	水口デマンド	合計		
運行便数/日	便	3.97	13.29	0.05	17.32		R4(4月～1月)
運行便数/年	便	1,204	4,028	16	5,248		
利用者数	人	1,360	4,363	16	5,739		
便あたり利用者数	人	1.13	1.08	1.00			R4(4月～1月)
収支状況	円	-1,035,520	-4,950,490	-21,580	-6,007,590		R3 ※貴生川はR4
収支率	%	6.20%	3.28%	0.00%			
運行便数当たり経費	円	860	1,229	1,349	1,145		
小中学生の通学利用	人	0	0	0	0		R4.1学期末
評価		A	C	C			
改善計画案		バス停追加(宇川)、水口方面★エリア	水口方面★エリアへの料金設定変更	廃止			

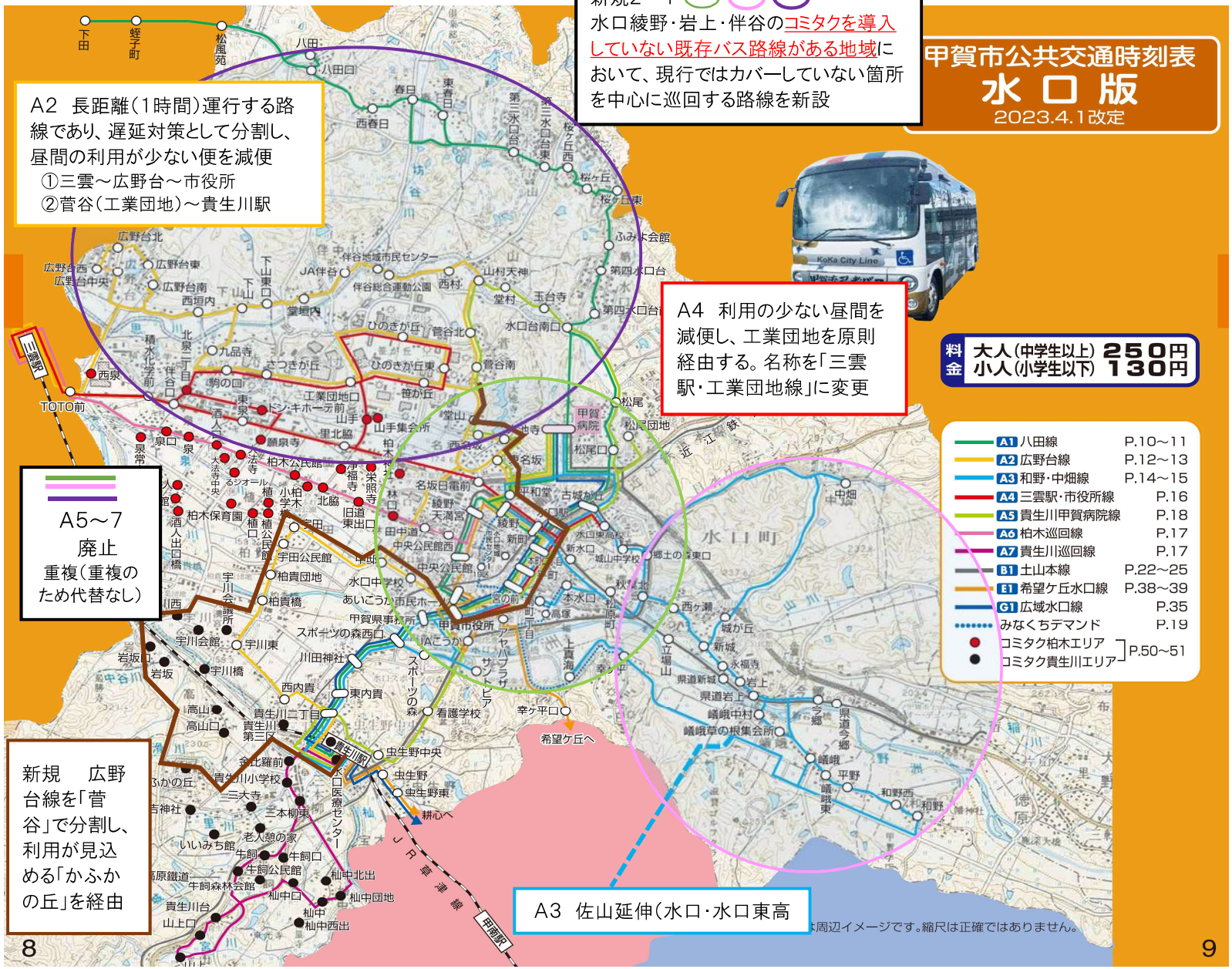
土山地域（全日）		予約制運行					
		大野デマンド	土山	合計			
運行便数/日	便	0	0.21	0.21			R4(4月～1月)
運行便数/年	便	0	63	63			
利用者数	人	0	85	85			
便あたり利用者数	人	0	1.35				R4(4月～1月)
収支状況	円	0	-37,850	-37,850			R3
収支率	%	-	4.42%				
運行便数当たり経費	円	0	601	601			
小中学生の通学利用	人	0	0	0			R4.1学期末
評価		C	B				
改善計画案		廃止	コミバス土山巡回線との役割調整				

甲南地域（全日）		予約制運行					
		東	西	北	共通	合計	
運行便数/日	便	12.90	5.90	3.17	0.45	22.43	R4(4月～1月) コミタクはR3
運行便数/年	便	4,707	2,155	1,158	166	8,186	
利用者数	人	7,730	3,806	1,950	195	13,681	
便あたり利用者数	人	1.64	1.77	1.68	1.17		
収支状況	円	-7,508,140	-3,645,320	-1,512,130	-109,030	-12,774,620	R3
収支率	%	1.19%	0.88%	0.83%	5.96%		
運行便数当たり経費	円	1,595	1,692	1,306	657	1,561	
小中学生の通学利用	人	7	12	6	0	25	R4.1学期末
評価		C	C	B	B		
改善計画案		長距離便見直し 通学便廃止	長距離便見直し 通学便廃止	森尻・宝木追加 通学便廃止	エリア検討		

信楽地域（全日）		予約制運行					
		宮町	神山江田	合計			
運行便数/日	便	4.84	8.42	13.27			R4(4月～1月)
運行便数/年	便	1,468	2,552	4,020			
利用者数	人	4,901	3,375	8,276			
便あたり利用者数	人	3.34	1.32				R4(4月～1月)
収支状況	円	-2,720,360	-3,384,170	-6,104,530			R3
収支率	%	0.69%	1.86%				
運行便数当たり経費	円	1,853	1,326	1,519			
小中学生の通学利用	人	15	0	15			R4.1学期末
評価		B	B				
改善計画案		通学便廃止・勅旨追加	長距離便見直し エリア検討				

４コミタクエリア別評価・地域別見直し（案）

１　主な再編箇所（水口地域）



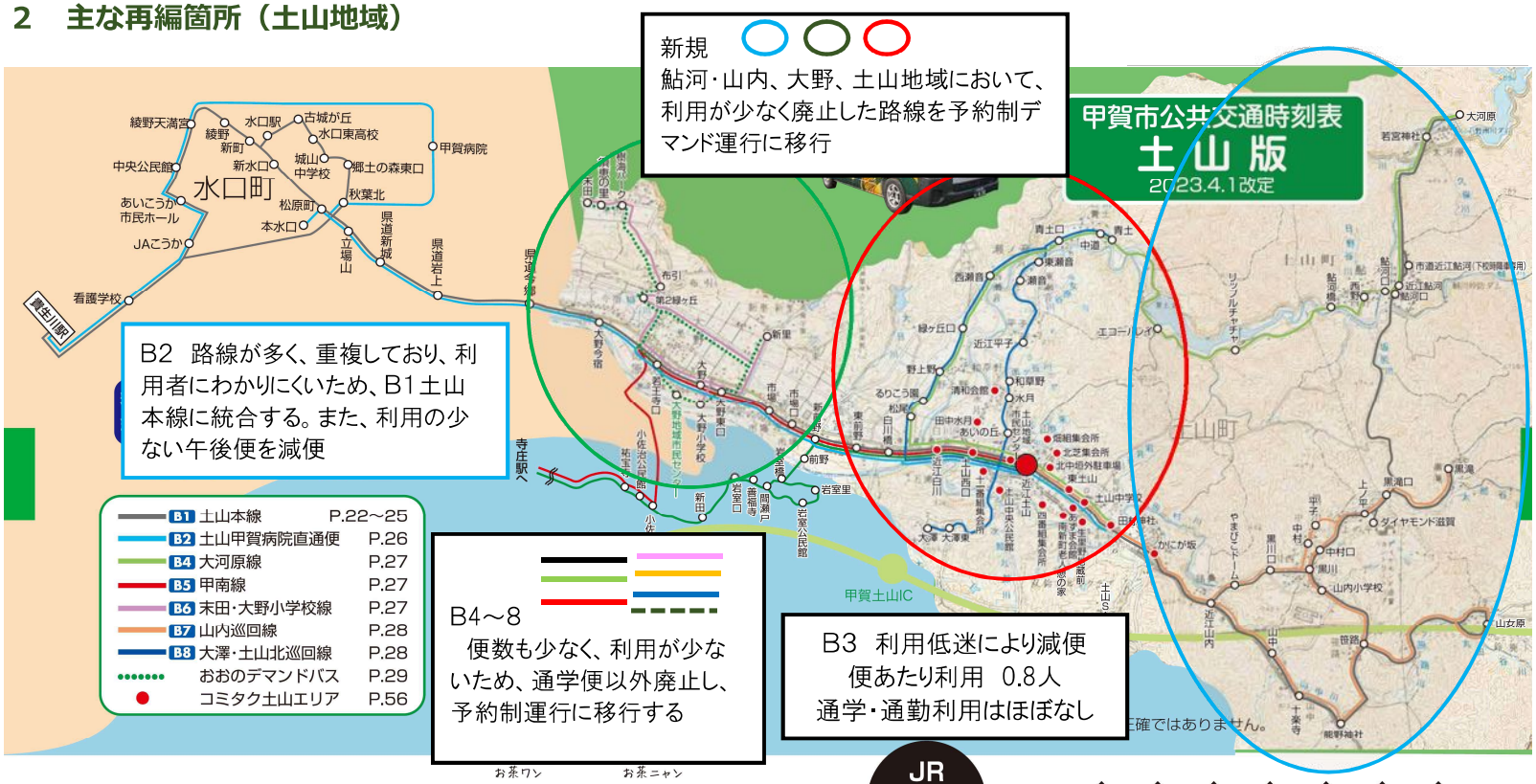
（現）　８路線

A1		現状維持
A2		路線分割・減便
A3		減便・佐山延伸
A4		減便・名称変更
A5		廃止（重複）
A6		廃止（重複）
A7		廃止（重複）
水口デマンド		廃止（重複）

（再編後）　７路線

A1		八田線
A2		広野台線
A3		和野・佐山線
A4		三雲駅・工業団地線
A5		水口綾野巡回線
A6		岩上巡回線
A7		伴谷巡回線

2　主な再編箇所（土山地域）



南草津土山線

料金	
大人（中学生以上）	500円
小人（小学生以下）	250円

南草津土山線

運賃表			一般 中学生以上	一般 小学生以下	身体・知的・精神障がい者（手帳提示） 中学生以上	身体・知的・精神障がい者（手帳提示） 小学生以下
普通運賃			500円	250円	250円	130円
定期	通勤一般	1ヶ月	9,000円	——	6,300円	——
		3ヶ月	25,650円	——	17,960円	——
		6ヶ月	48,600円	——	34,020円	——
	通学	1ヶ月	6,600円	2,400円	4,620円	2,400円
		3ヶ月	18,810円	6,840円	13,170円	6,840円
		6ヶ月	35,640円	12,960円	24,950円	12,960円

南草津土山線（新名神高速道路利用）

B3 南草津土山線（行き）

停留所＼便号	1	2	3
田村神社	6:45	9:40	15:10
東土山	6:46	9:41	15:11
近江土山	6:48	9:43	15:13
土山地域市民センター	6:48	9:43	15:13
土山西口	6:49	9:44	15:14
近江白川	6:50	9:45	15:15
白川橋	6:50	9:45	15:15
↓	↓	↓	↓
南草津駅(西口)	7:35	10:30	16:00
	0.8人	1.5人	0.8人

B3 南草津土山線（帰り）

停留所＼便号	1	2	3
南草津駅(西口)	8:05	10:50	16:25
↓	↓	↓	↓
白川橋	8:51	11:36	17:11
近江白川	8:51	11:36	17:11
土山西口	8:52	11:37	17:12
土山地域市民センター	8:53	11:38	17:13
近江土山	8:53	11:38	17:13
東土山	8:54	11:39	17:14
田村神社	8:55	11:40	17:15
	0.4人	0.3人	1.4人

道路事情等により

は

※南草津土山線はコミュニティバスフリー乗車券、SKR・コミバス共通フリー乗車券は利用できません。

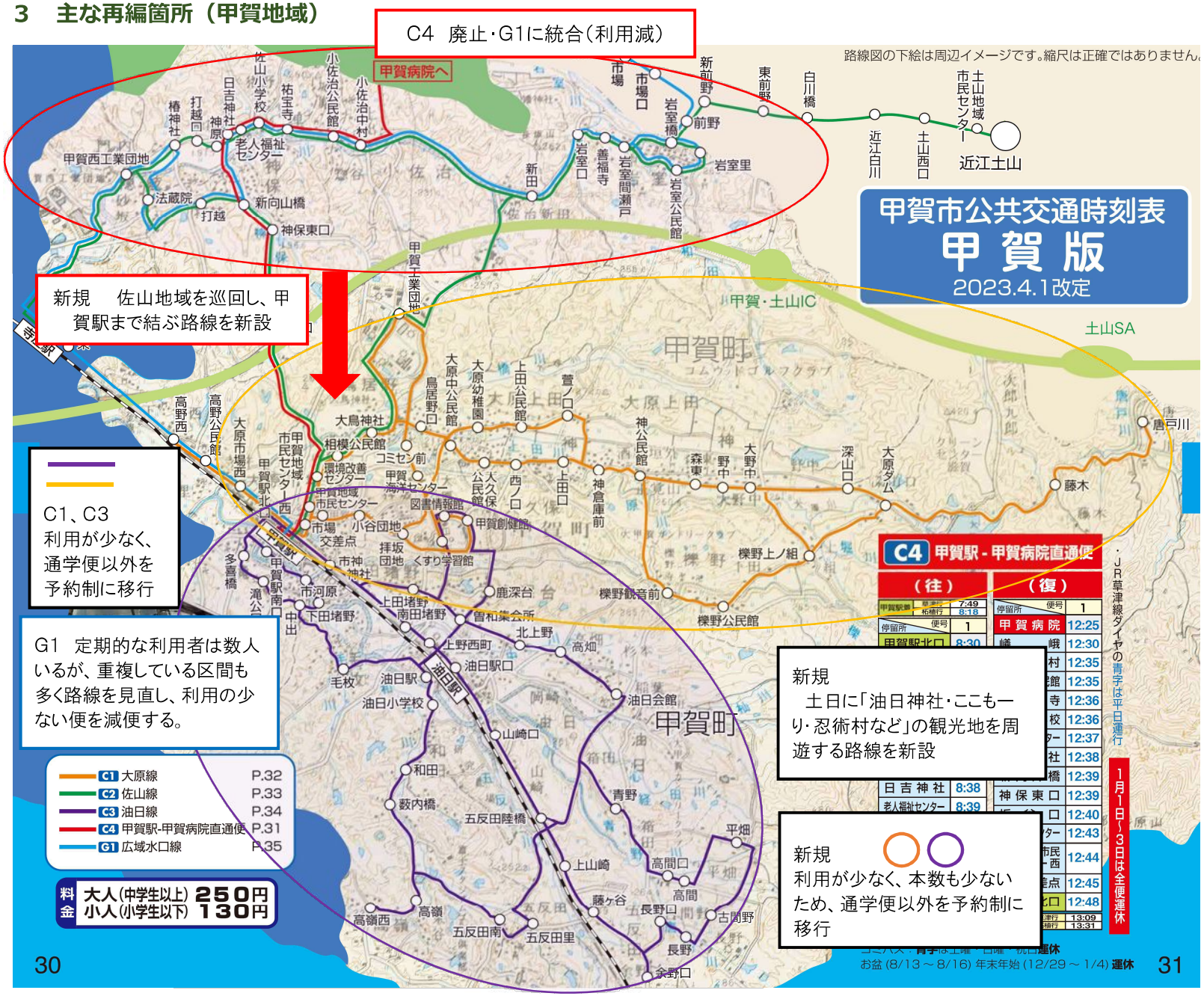
（現）　9路線

B1		系統整理・増便
B2		統合・減便
B3		減便等
B4		廃止（利用減）
B5		廃止・佐山線と統合
B6		廃止（利用減）
B7		廃止（利用減）
B8		廃止（利用減）
大野デマンド		廃止（利用無）

（再編後）　5路線

B1		土山本線
B2		山内鮎河巡回線（予約制）
B3		南草津土山線
B4		大野巡回線（予約制）
B5		土山巡回線（予約制）

3　主な再編箇所（甲賀地域）



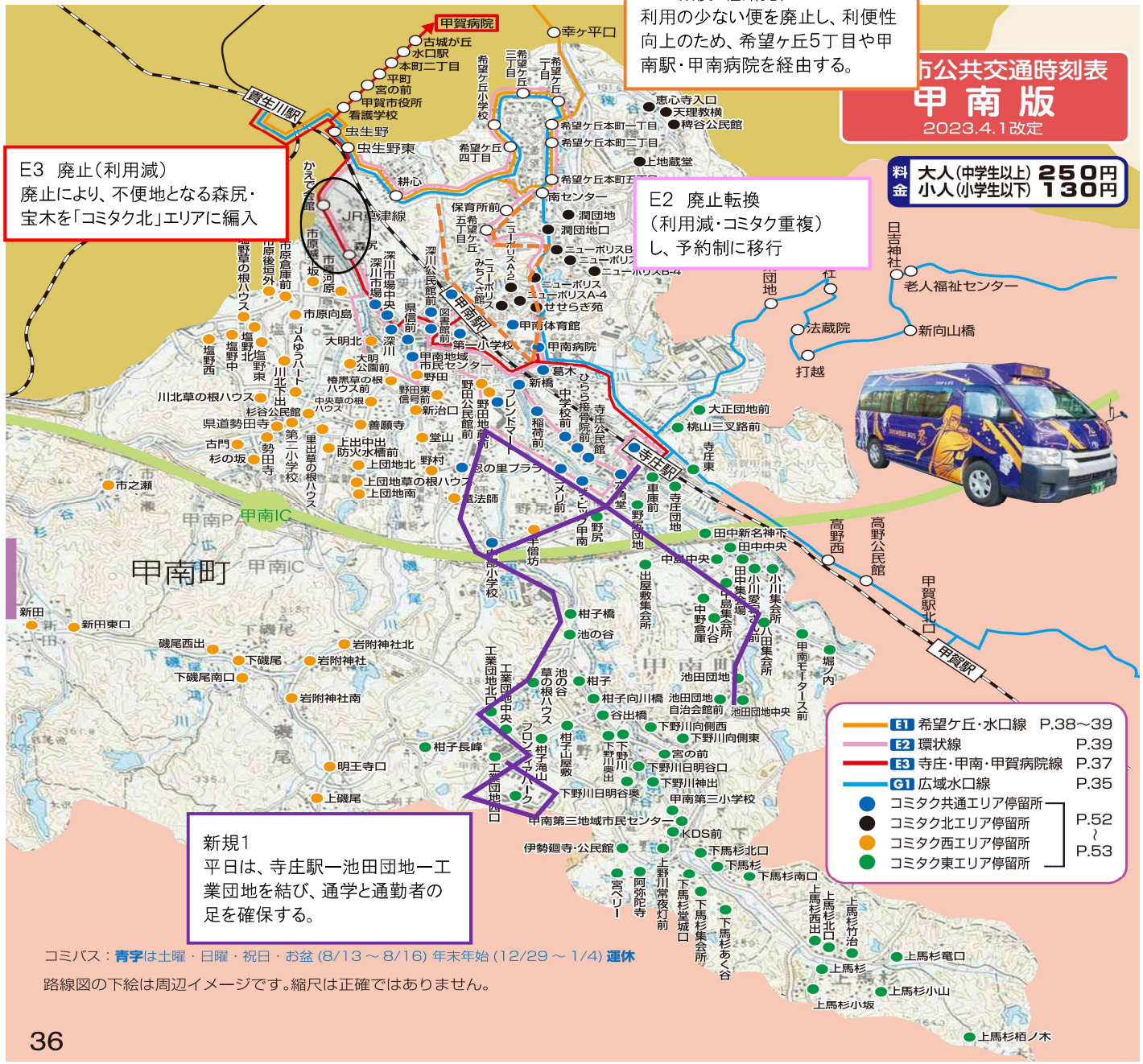
（現）　5路線

C1		転換（利用減）
C2		甲南線と統合
C3		転換（利用減）
C4		廃止・統合
G1		経路見直し

（新）　6路線

C1		大原線（予約制）
C2		佐山線
C3		油日線（予約制）
C4		佐山巡回線
C5		観光路線
G1		広域水口線

4　主な再編箇所（甲南地域）



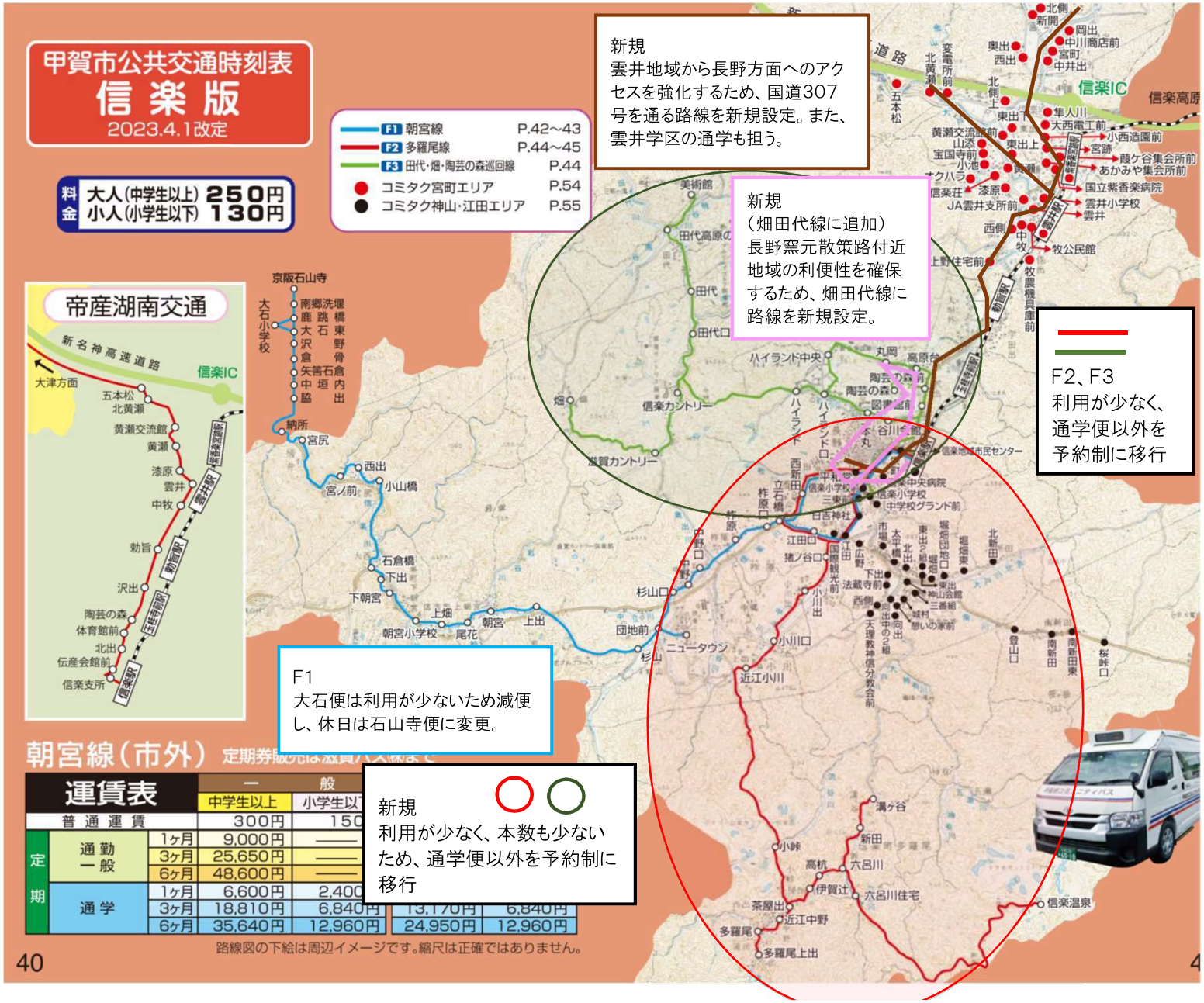
（現）　　３路線

E１		減便・経路見直し
E２		転換（コミタク重複）
E３		廃止（利用減）
(G1)		経路見直し

（新）　　３路線

E１		希望ヶ丘線
E２		環状線（予約制）
E３		池田工業団地線

5　主な再編箇所（信楽地域）



（現）　　3路線

F1		減便・経路見直し
F2		転換（利用減）
F3		廃止（利用減）

（新）　　４路線

F1		朝宮線
F2		多羅尾線（予約制）
F3		畑・田代線（予約制）
F4		雲井国道線

5　コミバス路線別改正(2024.4.1)概要（案）　2023.12.15現在

全体的な考え方

・慢性的な運転手不足、自動車運転者の労働基準改正への対応

①始発、最終便の減便、時刻繰上げにより、拘束・休息時間を遵守

②日中についても、利用の少ない便を減便し、運転時間を遵守

（参考：バス）
休息時間・・・・８時間→１１時間（よって、拘束時間・・・１３時間）
運転時間・・・９時間（４週平均１週あたり、４０時間）

③利用状況に応じたダイヤ設定、路線配置を行うなど効率的な配置が必要

④運転手の労働環境の改善（労働時間、賃金、運行ルートなど）

・小中学生の通学を確保する（一部運行に変更あり）

【水口地域】

A1　八田線	現状維持	下田・八田～水口台～甲賀病院～貴生川					
1便あたり利用者	平日	最小	2.4	人	復路2便	最大	27.0 人 往路5便
	休日	最小	2.6	人	復路1便	最大	7.9 人 復路3便
利用概況	全便を通じて多くの利用がある。主に、平日朝に下田、水口台方面から水口東・水口高校への通学、水口台から貴生川駅、昼間は平和堂への利用が多い。						
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	下田　約7,000人　貴生川　約21,000人 水口台（各バス停総数）　約16,000人　水高・東高　約8,000人						
改正概要	往）　現行　16　便　→　16　便　±0				復）　現行　16 便　→　16 便　±0		

①幅員が狭く利用の少ないバス停を通過し、近隣の主要道に移設
水口台南口　・　東春日

A２　広野台線	一部減便・路線分割	三雲駅・広野台～甲賀病院～貴生川					
1便あたり利用者	平日	最小	2.1	人	往路10便	最大	16.7 人 往路3便
	休日	最小	2.6	人	往路7便	最大	7.9 人 復路1便
利用概況	三雲駅、貴生川駅から工業団地へ向かう利用が大半を占める。そのほかは、昼間に平和堂への利用が多い。						
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	三雲　約9,000人　貴生川　約7,000人　市役所　約3,000人 工業団地（バス停総数）　約7,000人　平和堂　約3,000人						
改正概要	往）　現行　15　便　→　10　便　-5				復）　現行　13 便　→　8 便　-5		

①　慢性的な遅延がみられる（運行時間、道路）ため、路線を分割
三雲～市役所　、　貴生川～菅谷（朝夕にかふかの丘を経由）

②　利用状況に応じた減便（概ね、１時間間隔を1.5～２ｈ間隔とする）

③　三雲駅から工業団地への経由便を「A4」に統合

A３　和野中畑線	一部減便・区間延伸	和野・嶬峨～甲賀病院～市役所～貴生川						
1便あたり利用者	平日	最小	0.7	人	往路１０便	最大	19.6	人	復路1便
	休日	最小	1.3	人	往路4便	最大	5.1	人	復路2便
利用概況	全便を通じて利用が比較的少ない。主に、和野・嶬峨方面から水口小学校への通学、平日朝に貴生川駅から市役所、水口東高校への通学を担っている。								
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	本水口　約3,500人　貴生川　約4,500人 市役所　約3,500人								
改正概要	往)　現行　12　便　→　10　便　-2					復)　現行　12 便　→　10 便　-2			

①利用状況に応じて減便、運行ルート変更　※水口小学校の通学便は確保

利用の少ない３便程度を減便（概ね、1.5～２ｈ間隔とする）

②朝夕の各１便を佐山小学校まで延伸（甲賀病院、水口・水口東高校への通学対応）

A４　三雲駅・市役所線	一部減便・区間変更	三雲－国道１号－市役所・綾野・水口東高						
1便あたり利用者	平日	最小	0.9	人	往路１便	最大	18.3	人	往路４便
	休日	最小	0	人	復路１便	最大	7.8	人	往路６便
利用概況	朝夕のＮＥＣ、水口東高、工業団地への通勤通学以外は全便を通じて利用が少ない。								
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	三雲　約11,000人　工業団地総数　約1,000人 水口東高　約2,000人　名坂日電前　約3,000人								
改正概要	往)　現行　13　便　→　11　便　-2					復)　現行　14 便　→　12 便　-2			

①利用状況に応じた減便　※通勤通学便は確保

１日を通じて、利用の少ない始発、最終便を含めた４便程度を減便、Ａ２広野台線より工業団地経由を統合（＋２便）　※１時間間隔を1.5～２ｈ間隔とする

②朝夕に工業団地経由、水口東高経由に変更増（各＋１便程度）

A５　貴生川･甲賀病院線	路線廃止	貴生川駅～甲賀病院

1便あたり利用者	平日	最小　0.7　人　復路４便	最大　6.6　人　復路２便
	休日	最小　－　人	最大　－　人
利用概況	平成２９年の路線再編時に、貴生川駅～甲賀病院のアクセス強化のため新設。しかし、日中の草津線が減便となり、貴生川駅に接続する便は他で対応できている。対応していない往路２便のみ、ＪＲ草津線の貴生川駅（９：０５着）に接続する甲賀病院行きがないため、6.6人の乗車があるが、その他は0.7~3.5人と少ない。	
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	貴生川　約1,600人　甲賀病院　約600人 市役所　約600人　名坂日電前　約3,000人	
改正概要	往)　現行　3　便　→　0　便　-3	復)　現行　5 便　→　0 便　-5

①本線は利用も少なく、他路線との重複区間も多いため廃止する。

②廃止により、空白エリアとなる地域（現状の利用者は著しく少ない：年間数十人）利用の多い復路２便については、別便で対応する。

A６　柏木巡回線	路線廃止	綾野～旧国道～三雲駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.3　人　復路2便	最大　2.5　人　復路３便
	休日	最小　0.6　人　復路２便	最大　0.9　人　復路３便
利用概況	平成２９年のコミタク導入後、コミタク運行時間以外で利用者が一定数いたため路線が存続されたが、利用者数が年々減っている。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	三雲　約800人　綾野天満宮　約800人 柏木旧道地域　約150人		
改正概要	往)　現行　2　便　→　0　便　-2	復)　現行　3 便　→　0 便　-3	

①利用が少ないため廃止

A７　貴生川巡回線	路線廃止	貴生川～山上～貴生川

1便あたり利用者	平日	最小　0.5　人　1便	最大　0.5　人　2便
	休日	最小　－　人　－	最大　－　人　－
利用概況	平成２９年のコミタク導入後、コミタク運行時間以外で利用者が一定数いたため路線が存続されたが、利用者数が年々減っている。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	貴生川　約300人		
改正概要	往)　現行　2　便　→　0　便　-2		

①利用が少ないため廃止

以下、新規路線

新Ａ５　　水口綾野巡回線	新規路線	水口・綾野中心部を巡回
運行形態	定時定路線運行	
設定理由	水口・綾野地域の中心部は、人口が多く利用が見込める一方、道路が狭いためバスの運行はない。近隣には、水口石橋駅はあるものの、特に甲賀病院等へのアクセスが脆弱。シャレットワークショップの提案や区要望でも新規路線の設定要望があるため、旧東海道を中心に、実証的に近隣主要地点へのアクセス路線を設定するもの。	
運行概要	通勤通学時間以外の時間帯で、巡回便を３便程度設定する	
水口中心部（本水口）～市役所～綾野中心部（中央公民館）～平和堂～甲賀病院　など		

新Ａ６　　岩上巡回線	新規路線	岩上地域、水口北部を巡回
運行形態	定時定路線運行	
設定理由	既存路線の廃止や運行本数を削減する地域（幸ヶ平・中畑・松尾・松尾団地等）、人口が多く利用が見込めるがバスの運行がない（または少ない）地域（松尾台・古城が丘）に新規路線の設定要望があるため、実証的に近隣主要地点へのアクセス路線を設定するもの。	
運行概要	通勤通学時間以外の時間帯で、巡回便を３便程度設定する	
水口中心部（本水口）～幸ヶ平～和野嶬峨～中畑～古城が丘～甲賀病院～平和堂～市役所　など		

新Ａ７　　伴谷巡回線	新規路線	伴谷地域を巡回
運行形態	定時定路線運行	
設定理由	既存路線の廃止（山地域）や運行本数を削減する地域、多くの路線が地域を運行しており、一定甲賀病院へのアクセスはあるものの、市民センター等に行けない地域や大型団地の端部のアクセス強化として、実証的に近隣主要地点へのアクセス路線を設定するもの。路線については、平成３０年度に地域で実証的に運行されたルートを参考に設定する。	
運行概要	通勤通学時間以外の時間帯で、巡回便を３便程度設定する	
地域の旧在所～水口台等の住宅団地～伴谷市民Ｃ～ドンキ・ホーテ～カインズ		

（運行のイメージ）　　通常のコミバスと同様に、バス停ごとに時刻があり、定期的に運行します

バス停Ａ　9:30　11:00　13:30 → バス停Ｂ　9:40　11:10　13:40

【土山地域】

B１　土山本線	一部減便	大河原～近江土山～貴生川	
1便あたり利用者	全日	最小　2.4　人　下り23便	最大　39.0　人　下り７便
利用概況	貴生川駅から田村神社間については、全便を通じて多くの利用があるが、田村神社～大河原間については、通学時間以外は利用者が少ない状況。主に、平日朝に水口東・水口高校への通学、貴生川駅への通勤通学、土山小学校、土山中学校への通学を支えている。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約12,000人　貴生川　約32,000人 田村神社　約10,000人　中央公民館・水口東高校　約2,000人		
改正概要	上）　現行　22　便　→　20　便　-2	下）　現行　25 便　→　23 便　-2	
	注）上記は、田村神社～貴生川間。田村神社～大河原間は通学便以外は原則予約制		

①利用の少ない便を減便（上り始発、上下便の終便など）

②田村神社～大河原間は通学便以外は原則予約制とする(新Ｂ２　山内鮎河巡回線　へ移行）

B２　土山甲賀病院線	廃止統合（減便）	田村神社～甲賀病院～貴生川	
1便あたり利用者	平日	最小　0.6　人　行き3便	最大　6.6　人　行き6便
利用概況	土山地域から甲賀病院への直通便であるが、利用が少なく、本線と重複している便もある。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約1,000人　貴生川　約1,000人 甲賀病院　約1,000人		
改正概要	行）　現行　6　便　→　3　便　-3	帰）　現行　5 便　→　3 便　-2	

①路線自体は廃止し、Ｂ１土山本線に統合する。

②利用の少ない便は減便する。

B３　南草津土山線	減便	田村神社～南草津	
1便あたり利用者	平日	最小　0.4　人　帰り１便	最大　1.5　人　帰り３便
利用概況	土山地域から南草津への直通便であるが、定期利用が少なく、通学定期利用は０人の状況。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約400人　南草津　約600人		
改正概要	行）　現行　3　便　→　2　便　-1	帰）　現行　3 便　→　2 便　-1	

①利用が少ないため、１便と３便の２往復を残して減便

②他路線での対応も継続して検討

B４　大河原線	廃止	近江土山～大河原	
1便あたり利用者	平日	最小　0.1　人　下り３便	最大　2.0　人　下り１便
利用概況	本線とは違い、青土ダムを経由して大河原に向かう便であるが、全便とも2.0人以下と利用が少ない。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約50人　鮎河　約20人 大河原　約20人		
改正概要	行）　現行　3　便　→　0　便　-3	帰）　現行　3 便　→　0 便　-3	

①全便とも利用が少ないため、廃止し、予約制運行に移行する。
（新Ｂ２　山内鮎河巡回線　へ移行）

B５　甲南線	廃止統合	近江土山～寺庄駅	
1便あたり利用者	平日	最小　0.1　人　上り１便	最大　13.0　人　下り１便
利用概況	土山地域から甲南高校への通学対応に特化したダイヤを設定していることから、一般利用がほぼ見られない。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約800人　寺庄　約1,600人		
改正概要	上）　現行　2　便　→　2　便　0	下）　現行　2 便　→　2 便　0	

①利用が少ないため、上１便と下2便を、利用の見込める時間帯に時刻変更し、寺庄へのアクセスを強化

②Ｃ２佐山線と重複しているため、路線を佐山線に統合し、わかりやすくする。

B６　末田･大野小学校線	廃止	大野小～末田～大野小	
1便あたり利用者	平日	最小　2.8　人　２便	最大　7.0　人　1便
利用概況	現状、末田、緑が丘地域等から大野小学校への通学に特化したダイヤを設定していることから、一般利用がほぼ見られない。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	大野小学校　約1,400人　新里　約200人 梅田会館　約800人		
改正概要	現行　3　便　→　1　便　-2		

①通学に特化したダイヤを設定していることから、一般利用がほぼ見られないため、通学便以外を予約制運行に移行する。（新Ｂ４　大野巡回線　へ移行）

Ｂ７　　山内巡回線	廃止	近江土山～鮎河～近江土山

1便あたり利用者	平日	最小　0.4　人　1便	最大　1.9　人　３便
利用概況	本線ルートと多くが重複しており、全便とも2.0人以下と利用が少ない。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約50人　鮎河　約20人 大河原　約20人		
改正概要	現行　３　便　→　０　便　-3		

①全便とも利用が少ないため、廃止し、予約制運行に移行する。

（新Ｂ２　山内鮎河巡回線　へ移行）

Ｂ８　　大澤･土山北巡回線	廃止	近江土山～大澤･青土～近江土山

1便あたり利用者	平日	最小　1.5　人　２便	最大　21.3　人　1便
利用概況	現状、大澤･青土地域等から土山小学校への通学に特化したダイヤを設定していることから、一般利用がほぼ見られない。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	近江土山　約300人　大澤　約100人 野上野　約50人		
改正概要	現行　４　便　→　１　便　-3		

①通学に特化したダイヤを設定していることから、一般利用がほぼ見られないため、通学便以外を予約制運行に移行する。（新Ｂ５　土山巡回線　へ移行）

その他、大野デマンド　廃止　　（新Ｂ４　大野巡回線　へ移行）

以下、新規路線

新Ｂ４　　山内鮎河巡回線	新規路線	山内・鮎河学区を巡回
運行形態	定時不定期運行**（予約制）**	
設定理由	既存路線において、Ｂ１土山本線（田村神社以東）、Ｂ４大河原線、Ｂ７山内巡回線で網羅するエリアについて、現状では、土山小学校、中学校の通学に合ったダイヤを設定していることから、一般利用が少ない状況。 また、地域によっては、日１本～３本の地域もある。	
運行概要	**朝夕の**通学時間：定期運行（開校日のみ）　その他：予約制運行	
フレンドマート～近江土山～鮎河学区・山内学区		

新Ｂ５　　大野巡回線	新規路線	大野学区（＋岩室）を巡回
運行形態	定時不定期運行**（予約制）**	
設定理由	Ｂ６末田・大野小学校線エリアについて、現状では、大野小学校の通学に合ったダイヤを設定していることから、一般利用が少ない状況。	
運行概要	**朝の**通学時間：定期運行（開校日のみ）　その他：予約制運行	
フレンドマート～大野小～末田～岩室		

新Ｂ６　　土山巡回線	新規路線	土山学区（＋唐戸川）を巡回
運行形態	定時不定期運行**（予約制）**	
設定理由	Ｂ８大澤土山北巡回線エリアについて、現状では、土山小学校の通学に合ったダイヤを設定していることから、一般利用が少ない状況。	
運行概要	**朝の**通学時間：定期運行（開校日のみ）　その他：予約制運行	
フレンドマート～近江土山～青土～大澤～土山ＳＡ		

（運行のイメージ）

バス停	1	2	3	4	5	6
	定期便	予約制	予約制	予約制	予約制	定期便
フレンドマート	8:00	9:30	10:30	11:30	12:30	15:30
近江土山	8:10	9:40	10:40	11:40	12:40	15:40
山女原	8:20	9:50	10:50	11:50	12:50	15:50
黒川	8:25	10:00	11:00	12:00	13:00	16:00
鮎河	8:30	10:10	11:10	12:10	13:10	16:10
大河原	8:35	10:20	11:20	12:20	13:20	16:20

※予約制については、予約した時間に合わせて運行します。目的地到着が早くなることもあります。

※　　は、学休日運休となります。

【甲賀地域】

C１　大原線	減便・予約制切替	唐戸川～大原公民館～甲賀駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.02　人　復路10便	最大　9.6　人　往路1便
利用概況	大原小学校の通学で利用する便以外は、利用者が少ない状況。通過するバス停も多く、１日に数便しか来ない地域もある。休日の運行はない。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	甲賀駅　約1,200人　大原中公民館　約1,200人		
改正概要	往)　現行　9　便　→　5　便　-4	復)　現行　10 便　→　5 便　-5	

①通学・通勤便以外は予約制とする

②新名神甲賀工業団地への通勤便を設定

※その他、予約制として、１日あたり５便程度を設定する。

C２　佐山線	現状維持	近江土山～佐山小学校～寺庄駅～甲賀駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.12　人　復路３便	最大　10.0　人　復路1便
利用概況	佐山小学校（岩室～佐山小学校）、甲南高校の通学で利用する便以外は、利用者が少ない状況。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	寺庄駅　約500人　佐山小学校　約200人		
改正概要	往)　現行　6　便　→　6　便　－	復)　現行　5 便　→　5 便　－	

①利用の少ない便を減便し、Ｂ５甲南線を統合することで運行本数を現状維持

C３　油日線	減便・予約制切替	青野～油日小～甲賀駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.15　人　復路6便	最大　11.8　人　復路1便
利用概況	油日小学校の通学で利用する便以外は、利用者が少ない状況。通過するバス停も多く、１日に数便しか来ない地域もある。休日の運行はない。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	甲賀駅　約600人　大原中公民館　約1,000人		
改正概要	往)　現行　5　便　→　1　便　-4	復)　現行　6 便　→　1 便　-5	

①朝の通学で利用する便以外は原則予約制とする

※その他、予約制として、１日あたり５便程度を設定する。

C４　甲賀駅・甲賀病院線	廃止	甲賀病院～佐山小学校～甲賀駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.4　人　復路２便	最大　1.1　人　往路１便
利用概況	利用者が少ない状況であり、廃止。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	データなし		
改正概要	往)　現行　1　便　→　0　便　-1	復)　現行　1 便　→　0 便　-1	

①廃止するが、広域水口線、和野・中畑線の延伸対応で代替

G１　広域水口線	現状維持	甲賀駅～貴生川駅～甲賀病院

1便あたり利用者	平日	最小　2.9　人　往路１便	最大　12.7　人　復路１便
利用概況	甲賀地域から甲南地域を経て甲賀病院への向かう直通便であるが、利用は比較的多いものの、重複している区間も多い。また、運行時間も長く、遅延も見られている。		
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	甲賀駅　約2,000人　市役所　約2,400人 甲賀病院　約1,000人		
改正概要	行)　現行　5　便　→　5　便　-	帰)　現行　5 便　→　5 便　-	

①重複区間も多く、運行時間いため、慢性的遅延が発生。他路線との調整により、運行区間を見直す。

以下、新規路線

新C４　佐山巡回線	新規路線	佐山学区を巡回

運行形態	定時不定期運行**（予約制）**
設定理由	既存路線において、網羅していないエリアについての対応。
運行概要	**朝の**通学時間：定期運行（開校日のみ）　その他：予約制運行
隠岐地区～小佐治地区～岩室地区～神保地区～甲賀駅	3便程度

（運行のイメージ）

バス停	1	2	3	4	5	6
	定期便	予約制	予約制	予約制	予約制	定期便
岩室	8:00	9:30	10:30	11:30	12:30	15:30
佐山小	8:10	9:40	10:40	11:40	12:40	15:40
隠岐	8:25	10:00	11:00	12:00	13:00	15:50
甲賀駅	8:35	10:20	11:20	12:20	13:20	16:00

※予約制については、予約した時間に合わせて運行します。目的地到着が早くなることもあります。

※　　は、学休日運休となります。

【甲南地域】

E1	希望ケ丘・水口線	一部減便・路線変更	貴生川駅～希望ケ丘～市役所		
1便あたり利用者	平日	最小 0.02 人 復路17便	最大 5.3 人 復路3便		
	休日	最小 0.05 人 往路3便	最大 8.3 人 往路5便		
利用概況	朝の希望ケ丘から貴生川駅に向かう便、日中の希望ケ丘から市役所に向かう便の利用が大半を占める。そのほかは、比較的利用者が少ない。				
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	市役所 約3,000人 貴生川 約5,000人 希望ケ丘団地（バス停総数） 約7,000人				
改正概要 （上段：平日、下段：休日）	往） 現行 15 便 → 10 便 -5	復） 現行 17 便 → 12 便 -5			
	往） 現行 12 便 → 9 便 -3	復） 現行 12 便 → 9 便 -3			
① 利用状況に応じた減便（概ね、1時間間隔を1.5～2ｈ間隔とする） ② 綾野経由便の増、甲南病院経由の新規設定（広域水口線との兼ね合いあり）					

E２	環状線	減便・予約制切替	甲南駅～甲南病院～甲南駅	
1便あたり利用者	平日	最小 0.5 人 4便	最大 6.4 人 1便	
利用概況	路線の多くがコミタクで代替できるものの、1・3便の利用者は5～6人いる状況。			
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	データなし			
改正概要	現行 5 便 → 3 便 -2			
①路線の多くはコミタクで代替できるため、コミタクエリア外の区間のみ存続 ②予約制に切替 ③森尻・宝木地域はコミタク北エリアに編入				

E３	寺庄・甲南・甲賀病院線	廃止	寺庄～甲南病院～甲賀病院	
1便あたり利用者	平日	最小 2.8 人 往路	最大 5.0 人 復路	
利用概況	朝に一定の利用者がいるが、広域水口線等の路線変更で代替対応			
主なバス停利用数 （平日：年あたり総数）	データなし			
改正概要	往） 現行 1 便 → 0 便 -	復） 現行 1 便 → 0 便 -1		
①広域水口線で代替する				

以下、新規路線

新Ｅ３　　池田工業団地線	新規路線	主に池田小学校・工業団地の通学・通勤を担う

運行形態	定時定路線運行
設定理由	池田団地から中部小学校への通学は専用路線により運行しているが、その便を活用して工業団地ー寺庄駅を結ぶ路線を新規に設定する。あわせて、池田地域からのコミタク通学をコミバス通学に変更する。
運行概要	通学時間帯を含め、４便程度設定する

【運行イメージ】

バス停	1	2	バス停	1	2
	定期便	定期便		予約制	定期便
池田団地	7:30		工業団地		18:00
中部小学校	7:35		寺庄駅		18:20
寺庄駅	7:50	9:00	中部小学校	15:50	
工業団地	8:30	9:20	池田団地	16:00	

※予約制については、予約した時間に合わせて運行します。目的地到着が早くなることもあります。

※ ［　　］は、学休日運休となります。

【信楽地域】

F１ 朝宮線	減便	信楽駅～朝宮～宮尻～石山寺

1便あたり利用者	平日	最小	0	人	復路14便	最大	13.7	人	復路２便
	休日	最小	0.4	人	往路3便	最大	4.1	人	復路４便
利用概況	宮尻地域から朝宮小学校、朝宮地域から信楽中学校、石山寺から信楽高校の通学を担っているが、その他の便の利用は少ない。また、運行時間も長く、遅延も見られ、ＳＫＲとの接続が問題である。								
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	信楽駅	約2,500人	朝宮小	約400人					
	窯業試験場	約1,500人	大石小学校	約100人					
改正概要（上段：平日、下段：休日）	往) 現行 11 便 → 9 便 -2					復) 現行 12 便 → 10 便 -2			
	往) 現行 5 便 → 5 便 －					復) 現行 5 便 → 5 便 －			

①他運行時間も長く、遅延も見られているため、運行ルートの見直し調整により、時間短縮を図る。

②利用状況に応じた減便

③大石小学校行きの減便（区間短縮）平日３往復→１往復

④休日の大石小学校行きを石山寺行きに変更

F２ 多羅尾線	減便・予約制切替	信楽駅～多羅尾

1便あたり利用者	平日	最小	0	人	復路9/10便	最大	3.1	人	復路3便
	休日	最小	0.1	人	往路2便	最大	2.8	人	復路3便
利用概況	多地域から多羅尾小学校へ通学を担っているが、その他の便の利用は少ない。また、運行時間も長く、遅延も見られ、ＳＫＲとの接続が問題である。								
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	データなし								
改正概要（上段：平日、下段：休日）	往) 現行 10 便 → 8 便 -2					復) 現行 10 便 → 8 便 -2			
	往) 現行 8 便 → 6 便 -2					復) 現行 8 便 → 6 便 -2			

①通学便以外は原則予約制とする

②予約制の便については、小原地域・ニュータウンもエリアに含める

Ｆ３　畑田代巡回線	減便・予約制切替	信楽駅～ハイランド～畑～田代～信楽駅

1便あたり利用者	平日	最小　0.6　人　5便	最大　7.0　人　2便
	休日	最小　0.9　人　8便	最大　3.3　人　4便
利用概況	畑田代地域から信楽小学校、中学校、丸岡・高原台地域から信楽駅（雲井小学校）への通学を担っているが、その他の便の利用は少ない。また、運行時間も長く、遅延も見られ、ＳＫＲとの接続が問題である。		
主なバス停利用数（平日：年あたり総数）	データなし		
改正概要（上段：平日、下段：休日）	現行　12　便　→　9　便　-3		
	現行　5　便　→　5　便　－		

①通学便以外は原則予約制とする

②日中に、窯元散策路（長野中心部）を巡回するルートも実証的に設定

以下、新規路線

新Ｆ４　雲井国道線	新規路線	主に雲井小学校の通学を担う

運行形態	定時定路線運行
設定理由	雲井小学校への通学は現在コミタクで担っているが、総人数が２０人を超え、コミタクの運行能力を超えている。そのため、現在、丸岡・高原台の地蔵が信楽駅からＳＫＲで雲井小学校へ通学している児童もあわせ、バス路線を復活するとともに、合わせて２往復程度、雲井地域から信楽長野地域へ直通運行する。
運行概要	通学時間帯を含め、４便程度設定する

【運行イメージ】

バス停	1	2	バス停	1	2
	定期便	定期便		定期便	予約制
信楽駅	7:00	13:00	雲井	8:30	15:30
高原台	7:20	↓	宮町	↓	15:40
勅旨	7:25	13:10	黄瀬	↓	15:50
黄瀬	7:35	↓	勅旨	8:40	16:00
宮町	7:50	↓	高原台	↓	16:00
雲井	8:00	13:20	信楽駅	8:50	16:00

※予約制については、予約した時間に合わせて運行します。目的地到着が早くなることもあります。

※ ［　　］は、学休日運休となります。